

(様式 2)

富山県看護連盟・支部研修会報告（平成 26年 8 月分）

区 分	内 容			
会の名称	平成 2 6 年度 射水、高岡・氷見 1 ・ 2 支部 合同研修会			
研修の目的 ねらい	1 政治への関心を高め看護連盟の役割を理解する 2 会員相互の親睦を図り、現状、課題を知り活動の巾を広げる 3 訪問看護についての知識を得る			
開 催 日	平成 2 6 年 8 月 2 日 （土） 9：3 0 ～ 1 1：3 0			
会 場	真生会富山病院 5 階大講堂			
主 催	富山県看護連盟 射水、高岡・氷見 1 ・ 2 支部			
対 象 者	看護職			
出席者数	4 2 名＋役員 1 0 名			
研修方法	講演	解説・説明	グループワーク	意見交換
	提言	実技	他（	）
内 容	1 講演 「ベットサイドから政治を変える」 講師 富山県看護連盟 会長 稲田 まつ江 1 講演 「在宅療養における訪問看護師の役割」 講師 訪問看護認定看護師 高橋 政子			
特記事項				

提出日 平成 2 6 年 8 月 5 日

提出者 釣 朱實

資料添付 有

平成 26 年度 射水、高岡・氷見1, 2支部合同研修会

1. 目的: 1) 政治への関心を高め、看護連盟の役割を理解する。
2) 会員相互の親睦を図り、現状・課題を知り活動の幅を広げる。
3) 訪問看護についての知識を得る。
2. 日時: 平成 26 年 8 月 2 日(土) 9:30~11:30
3. 場所: 真生会富山病院 5階大研修室
4. 参加者: 52名



講演:「ベットサイドから政治を変える」

講師: 富山県看護連盟 会長 稲田まつ江

講演:「在宅療養における訪問看護師の役割」

講師: 訪問看護認定看護師 高橋 政子氏

☆協会と連盟の関係や看護の現場の問題と政治について、又、今国会で審議された看護の問題等、詳しく話されました。

☆講演後、保助看法の改正に伴う看護業務の変化についての質問等、活発な質疑応答や意見交換がありました



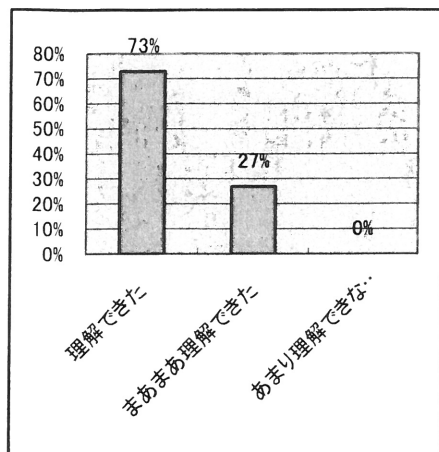
☆病院勤務者が多い中、訪問看護を取り巻く現状や事例を通して、在宅療養における看護師の役割を再認識しました。



看護連盟の役割が理解でき
看護職としての自分の課題を
がわかり、そして又、訪問看
護について理解が深まる研修
でしたね。自己研鑽の為にも
研修会に参加しましょうね。

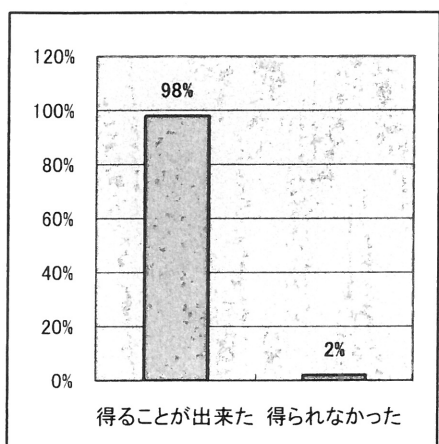


1 研修を受講されて看護連盟の役割について理解できましたか。



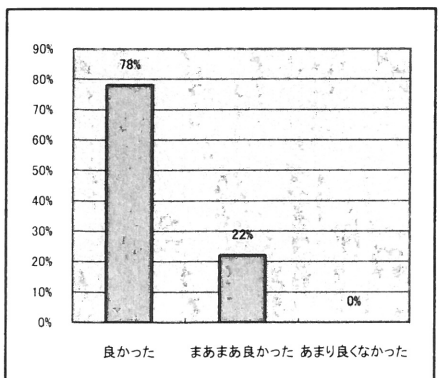
- ・現場の声が一番必要だと理解した。
- ・具体的な説明で理解出来た。
- ・富山県の連盟活動が伝わらなかった。
- ・看護協会と看護連盟のつながりを知ることができた。
- ・政治の力がないと制度が変わらないと改めて実感した。
- ・職能団体として政治は切り離せない。
- ・これまでは協会、連盟会費を言われるままに払っていたが今回の研修会で役割がそれぞれあることを理解できとてもよかった。
- ・とても明確に協会と連盟の違い、共同面がわかった。
- ・看護活動する上で連盟の役割が重要であることを十分理解できた。

2 研修を受講されて看護連盟会員として課題を得ることが出来ましたか。



- ・看護の質の向上のためには看護連盟の会員としての活動が必須であることを後輩に自分の言葉で伝えていく。
- ・連盟会員の増加が大切。
- ・非会員のスタッフへのアピールをもう少し頑張る。
- ・施設内で会員増に勤めなければいけないと感じた。
- ・参加していない人への伝達。
- ・現場の声を拾い上げる。
- ・職場へ帰り皆に話したい。
- ・国会議員等の議員数を増やし政治に働きかけていくことが重要。
- ・扶助看法の改正という大きな動きがあることを知り、注目していきたい。
- ・議員が政策で発言できる大切さを理解する。

3 講演についてはどうでしたか



- ・訪問看護について全くというくらい理解していなかった。少し勉強が出来た。もっと理解し勉強したいと思った。
- ・急性期病院で働いているので、訪問看護にはあまり興味がない分野と思っていたが、退院後の患者さんへも手厚い看護ができるんだと思った。
- ・訪問看護について改めて考える機会になった。
- ・事例紹介で訪問看護が分かりやすかった。
- ・今までふれる機会のない分野で勉強になった。
- ・普通病棟で勤務しているのに訪問看護の話は新鮮であった。退院支援で訪問看護導入することもあり興味深く話を聞いた。
- ・訪問看護師さんが多様なニーズに応えてくれることがわかった。完全に準備しなくても帰れるということに強く共感した。
- ・在宅療養に興味があった。
- ・現状の活動内容を知ることが出来た。知らないことがあり知識を得た。
- ・講義と事例より訪問看護の実際や看護師の役割について又利用者さん、家族の絆について理解した。

4 今後どのような内容の研修を希望されますか。

- ・研修会は勉強にもなり、癒しにもなる内容が良い。
- ・看護政策の動向と現状。
- ・土、日と休日の研修会の開催でありがたい。
- ・看護師教育について。
- ・看護の質が向上するような研修。(臨床に特化した)
大手の企業が行っている研修が富山で開催されるその時富山の病院もアピールしてほしい。
- ・認定看護師の話をとても興味深く聞きました。他の部門の話も聞きたいと思った。
- ・病院経営について(診療報酬改定を踏まえた)
- ・離職、退職者の少ない病院の取り組み 自病院では退職者多い。モチベーションが落ちているようにみえるので。
- ・緩和ケア。認定看護師の種類やなるまでの過程など。
- ・本日のように時々会長の研修があればありがたい。
- ・今日の研修場所がよかった。

5 ご要望やご意見があれば自由に記載してください。

- ・もう少し国会議員の数を増やし看護師の意見(現場の声)を吸い上げてもらい労働環境の改善に努めていただきたい。
- ・SNSを利用して広報してほしい。
- ・30年前海外からの研修生を受け入れた時、日本のNsはどの分野にも対応できると尊敬されましたが、現在は認定看護師、専門看護師ができ、より医師に近い立場になったようです。(よく言えば医師の助言者、悪く言えばこまずかい)もっと看護の独自性を訴えてください。
- ・現場の声はどこへ上げればいいのか不明瞭。アンケート用紙などどこにあるのか教えてください。
- ・支部年間活動を教えてください。
- ・看護の現場(各々の施設の状況など)について情報交換する場があればよい
研修会にグループワークを計画する
アンケートに属性(性、年齢、職場—訪問看護や地域連携室など)記入も講演の内容で必要ではないでしょうか。